



空中タッチディスプレイシステム

特徴

樹脂等で出来た特殊なプレートを通過させることで、空中に映像を投影させます。空中に投影された映像を空間で操作することにより、タッチパネル等の物体を直接触れることなく操作することが可能です。空中に投影するためスクリーンは不要で、空中映像の周辺に実在物を配置することも可能です。



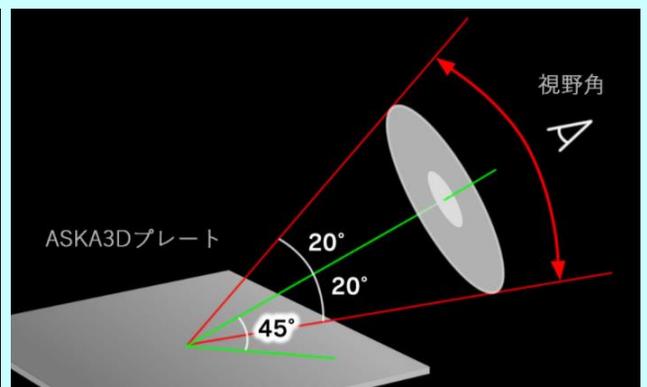
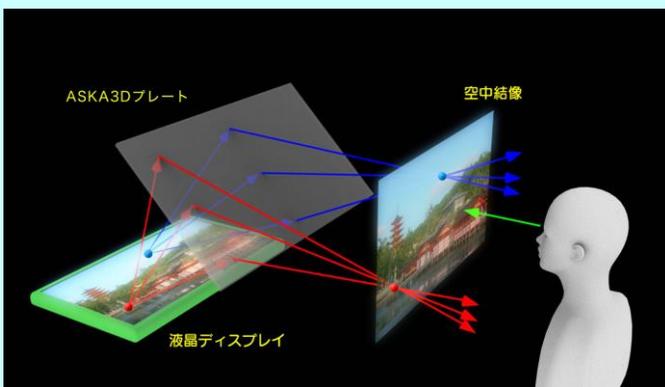
原理

空中ディスプレイは、画像や物体の放つ光線を特殊な構造をした光学プレートに通過させることで、プレートの反対側の等距離の位置に再び光が集まりディスプレイと同じ像を形成する仕組みを利用しています。

ディスプレイの一点から出る光が拡散し、光学プレートの中で反射をし、等倍距離で反射光が収束することで空中結像となり像を形成します。

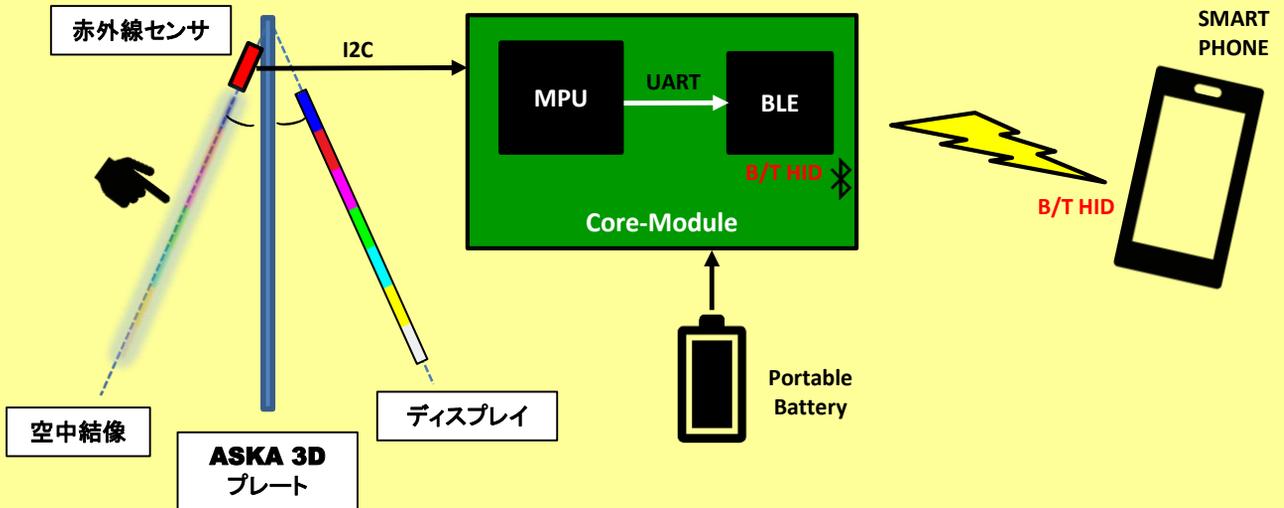
プレートの大きさにより、表現できる画像や物体のサイズ・結像距離が決まります。

この空間の映像を操作するとその動きをセンサーが認識し、センシングした情報を無線通信等でPCやスマートフォンに送信することで、タッチパネル等の物体を直接触れることなく操作することが可能です。



空中タッチディスプレイシステム

▶ デモ機構成



▶ デモ機仕様

光学プレート	ASKA 3Dプレート(アスカネット社)
赤外線センサ	Zforce AIR(Neonode社)
BLE	Nordic Semiconductor社
消費電力	T.B.D (W)
電源	ポータブルバッテリー内蔵
寸法・重量	T・B・D
動作環境	T・B・D
付属品	充電ケーブル

※お客様ご要求に合わせた最適なシステム提案、カスタマイズ開発にも柔軟に対応させていただきます。